



池上 文夫
市民連合
(75分)

**高齢者や障がい者などへ
バスなどの移動手段の確保を**

問 交通弱者と言われる高齢者や障がい者、また高校生などの通学者にとって、路線バスは欠くことのできない移動手段である。買い物難民の解消、病院や公共施設への巡回バスの要望など、これらさまざまな要望に

ついて、今取り組んでいるバス路線の再編の中で、施策に反映を。

答 交通弱者への配慮等については、住民、利用者、事業者へのアンケートやヒアリング調査、利用実態調査を実施する中で検討する。また、高齢者等をはじめとした市民の移動手段確保に向けては地域特性に応じた多様な交通サービスについて、福山・笠岡地域公共交通活性化協議会の中で検討する。



河村 晃子
日本共産党
(72分)

介護・保育労働者の処遇改善を

問 ①介護労働者の賃金は全労働者平均より月額10万円も低く、深刻な人材不足である。賃金や労働環境の整備のため、市独自の処遇改善の検討と介護労働者確保の取り組みを求める。
②保育士の安定的確保のため、国に処遇改善予算を抜本的に増

額することを要望し、本市独自の助成制度の創設を求める。

答 ①国は処遇改善のため加算措置を講じている。本市も適切な介護報酬の設定が引き続き行われるよう全国市長会を通じ国に要望している。介護人材の確保は、立ち上げを予定している人材確保推進組織に本市も参画し取り組み。
②6月に閣議決定されたニッポン一億総活躍プランに、さらなる処遇改善策が位置づけられた。本市も独自の処遇改善に取り組んできたが引き続き国の動向に注視する。



高木 武志
日本共産党
(73分)

耐震化の状況は

問 ①県の防災拠点等の耐震化率は、2014年度末全国最下位である。本市の各支所、公民館、コミュニティセンターの耐震化率と、耐震化計画は。
②本市の住宅耐震化率は2016年3月末77%で、目標の90%までには今後2万3400棟の

耐震化を要する。本市の耐震化補助率の引き上げは。
③学校校舎耐震化は2016年4月1日現在75・1%だが、残る小学校63棟、中学校34棟の耐震化計画は。

答 ①支所80%、公民館65・8%、コミュニティセンター31・6%。今後は、公共施設等サービス再構築基本方針に基づき実施する。
②補助制度も含め、国の動向を注視する。
③耐震化の優先度や学校生活への影響にも配慮し、計画的に進める。



大塚 忠司
新政クラブ
(70分)

国道2号の交通渋滞対策は

問 高速道路、都市高速道路直轄国道を対象に国交省が発表した昨年度の渋滞ワーストランキングでは、国道2号において福山市内の3区間が上位を占める状況であり、市民生活に支障を来している。主要幹線道路の交通混雑等の状況と、福山道路

等の事業の取り組みは。

答 交通量は、福山道路等が都市計画決定された平成13年当時と比べ、全体的にはほぼ横ばいで推移し、渋滞は依然として著しく市民生活や社会経済活動に支障が生じている。福山道路等の幹線道路網は、市民生活の安全性、利便性の向上、社会経済活動の活性化を図るもので、本市が持続的に発展するため不可欠な都市基盤と考えており、早期完成に向け、引き続き国、県と連携し事業を推進する。